

BPAリリースノートv5.1

- [はじめに](#)
- [最新情報](#)
 - [コアプラットフォーム](#)
 - [BPAコンポーネント](#)
 - [コンプライアンスと修復](#)
 - [NDFC v12.2.2の再認定](#)
 - [vManage Controller v20.15およびRBACのサポート](#)
 - [vManageセッション管理](#)
 - [GCTクラシックアプリケーションから次世代アプリケーションへの移行](#)
 - [OSアップグレード機能リスト](#)
 - [SASE、境界セキュリティ、TMFの使用事例の使用停止](#)
- [解決済みの問題](#)
- [既知の問題](#)

はじめに


Business Process Automation(BPA)は、クロスドメインで多層の自動化およびオーケストレーションソリューションであり、トランスポート、データセンター、キャンパス、ソフトウェア定義型ワイドエリアネットワーク(SD-WAN)、セキュリティなどのさまざまなネットワークアーキテクチャにわたってネットワーク資産のライフサイクルを管理します。そのメリットには、新しいサービスの提供に要する時間の短縮、資本コストと運用コストの最小化、一貫した自動化されたネットワーク構成による可用性、容量、運用の信頼性の向上、拡張性などがあります。

BPAには次の機能があります。

- シスコおよびサードパーティ製デバイスのライフサイクルを管理するための自動化ソリューション。デバイスのオンボーディング、テンプレート管理、ソフトウェアの適合性、アップグレード、設定のコンプライアンスなどのユースケースに対応します。
- エンドツーエンドのサービス統合と、ビジネスおよび運用プロセスの自動化を実現するワークフローエンジン
- 手順を自動化するためのプロセステンプレート、位置データを維持するための市場変動、およびUIフォームを作成するためのフォームデザイナー
- オペレーションサポートシステムおよびビジネスサポートシステムへの東西統合を構築するためのアダプタフレームワーク


BPAは、次に示すシスコおよびシスコ以外のコントローラと統合されます。ただし、BPAのモジュラーアーキテクチャにより、他のシスコまたはサードパーティ製コントローラにも統合を拡張できます。

- Ciscoコントローラ
 - Network Services Orchestrator (NSO)
 - Cisco Catalyst Center (旧称 : Cisco Digital Network Architecture Center)
 - Data Center Network Manager (DCNM)
 - Cisco Catalyst SD-WAN Manager (旧称Cisco vManage)
 - デバイスへの直接接続
 - Cisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラ(NDFC)
 - Cisco Crosswork Network Controller(CNC)
 - Cisco Secure Firewall Management Center(FMC)
- シスコ以外のコントローラ
 - アンゼブル

 注:BPAの導入に必要なサポートおよびメンテナンスサービスを利用できるようにするには、サブスクリプションキーを使用する必要があります。サブスクリプションキーを取得するには、シスコの担当者にお問い合わせいただくか、bpa-subscriptions@cisco.comまで電子メールでお問い合わせください。

最新情報

このセクションでは、Cisco BPA v5.1リリースで導入された主な機能、拡張機能、および変更について説明します。

 注:BPA v5.1は、Google Chrome(v139.0.7258.140)およびMozilla Firefox(v142)の最新バージョンで検証済みです。

コアプラットフォーム

コアプラットフォームのアップデートは次のとおりです。

- カスタムロールまたは権限をエクスポートまたはインポートする機能
- エージェントサブスクリプションのサポート (すべてのエージェントがコードを持ち、サブスクライブ可能)
- Open Policy Agentコンテナに対するハイアベイラビリティの有効化
- クラシックとポータルのユーザインターフェイス(UI)間の制御スイッチングのサポート
- フォーム階層を簡単に移動するためのランタイムフォーム変更のサポート
- vNSO 6.5のサポート
- ワークフローアプリケーションへの決定モデルと表記UIおよびUXの追加
- トレースを有効または無効にする機能、およびRESTコール、MongoDB、Postgresデータベースクエリのトレースを表示する機能 (ポリシーリゾルバとNSOを除く)

BPAコンポーネント

コンポーネント名	コンポーネントバージョン
ノデイス	v22.16.0
postgres	v17.5.1
動物園の飼育員	v3.9.3
パトロニ	v4.0.6
カムンダ	v7.19(Java 11)
カフカ	v4.0.0
MongoDB	v8.0.10
コング	v3.9.0
エルク	v9.0.3
ファイルビート	v9.0.3

コンプライアンスと修復

設定のコンプライアンスと修復に関する更新には、次のものが含まれます。

- コンプライアンスレポートを生成、表示、ダウンロードできる包括的なレポートダッシュボード
- コンプライアンス監査をオフラインで実施し、デバイスの設定をアセットマネージャにオンボーディングせずにアップロードできる
- 機密デバイス設定データをマスクする、ブロック設定の構成可能なパターン
- ポリシーおよび資産準拠概要グリッドデータを.CSVファイルとしてエクスポートする機能
- 生成された修復設定を表示し、デバイスの実行コンフィギュレーションと比較する機能
- 構成が存在する場合の違反の発生をサポートするためのブロックの拡張

NDFC v12.2.2の再認定

再認定の一環として、NDFCコントローラv12.2.2で次のアプリケーションがテストされました。

- コアアプリケーション(Asset Manager、Golden Configuration Template(GCT)、プロセステンプレートなど)
- デバイス有効化
- OSのアップグレード


vManage Controller v20.15およびRBACのサポート

vManage Controller v20.15およびロールベースアクセスコントロール(RBAC)のアップデートは次のとおりです。

- vManagerコントローラv20.15のサポート
- RBACはスコープを使用して、非管理者ユーザにテンプレートへのアクセスを許可します
- RBACは、資産グループを通じてデバイスアクセスを提供します
- BPAのアクセスポリシーは、非管理者ユーザにデバイスとテンプレートへのアクセスを許可します

vManageセッション管理

セッション管理は、すべてのバージョンのvManageコントローラでサポートされるようになりました。各要求に対して、新しいセッションを毎回作成するのではなく、既存の有効なセッションを使用して着信APIコールを実行します。セッションが期限切れになると、新しいセッションが自動的に作成されます。

 注：デフォルトのアイドルタイムアウトは30分で、トークンは24時間後に期限切れになります。

GCTクラシックアプリケーションから次世代アプリケーションへの移行

従来のGCTアプリケーションが次世代GCT UIに移行されました。新しいUIとUXは、Asset Managerなどの他のアプリケーションと連携しており、従来のGCT機能はすべて引き続き使用できます。主な特長は次のとおりです。

- UIおよびAPIパフォーマンスの向上
- テンプレート作成時の変数の割当ての概念の概要。これにより、配布ジョブで変数に値を事前移入できます。
- 専用の導入ジョブページ

OSアップグレード機能リスト

OSアップグレードのアップデートは次のとおりです。

- NDFCコントローラv12.2.2の認証
- NDFCコントローラで管理されるNexusスイッチのErasable Programmable Logic

Device(EPLD)アップグレードのサポート。これにより、ユーザはEPLDパッケージの準拠ポリシーを定義し、準拠チェックを実行し、ソフトウェアメンテナンスアップグレードと同様の結果を表示できます。

- ジョブ全体、特定のバッチ、またはバッチ内の1つ以上のデバイスのソフトウェアアップグレードをキャンセルする機能
- Internetwork Operating System(IOS)拡張ルーティングソフトウェアのタイプに関するアドバイザリ、バグ、およびサポート終了詳細のサポート
- ユーザビリティとユーザエクスペリエンス全体を向上させる次のフレームワークの機能拡張
- vManageコントローラによって管理されるデバイスの配布の前およびアクティベーションの後に、ソフトウェアイメージ（ワークフロー内で有効または無効）を削除する機能
- ソフトウェアコンフォーマンスダッシュボードページの自動リフレッシュ機能。アクティブなコンフォーマンスポリシー中にリアルタイムの更新を提供します。
- ソフトウェアイメージメタデータの絶対イメージ名と相対イメージ名の両方をサポートし、ファイル転送プロトコル(FTP)サーバ上の異なるパスに保存されているイメージに柔軟性を提供
- ソフトウェア適合性ポリシーでは、ユーザが使用できる資産グループを（コントローラIDの代わりに）受け入れることができるため、より詳細な設定が可能

SASE、境界セキュリティ、TMFの使用事例の使用停止

次の使用例は、BPA v5.1では廃止され、サポートされなくなりました。

- Secure Access Service Edge(SASE):SASEに関連するすべてのコントローラ（Umbrella、Duo、ThousandEyeなど）とその使用例
- 境界セキュリティ：シスコ製コントローラとシスコ製以外のコントローラの両方をサポートするすべての境界セキュリティユースケース
- Translation Model Framework (TMF): TMFコネクタサービスとすべてのTMF 641サービスオーダー管理アーティファクト

解決済みの問題

このリリースの一部として報告すべき解決済みの問題はありません。

既知の問題

このリリースの一部として報告する既知の問題はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。